

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社オートバックスセブン  
2023年7月31日

注:当社は第1四半期において決算説明会を行っておりません。  
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

## 2024年3月期 第1四半期業績

1. 全体概況	P. 2
2. 国内オートバックス事業	P. 5
3. 海外事業	P. 7
4. ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業	P. 9

## 2024年3月期 業績計画(修正)

5. 業績計画(修正)	P. 11
-------------	-------

## TOPICS

6. TOPICS(5カ年ローリングプラン、SDGsなど)	P. 14
-------------------------------	-------

---

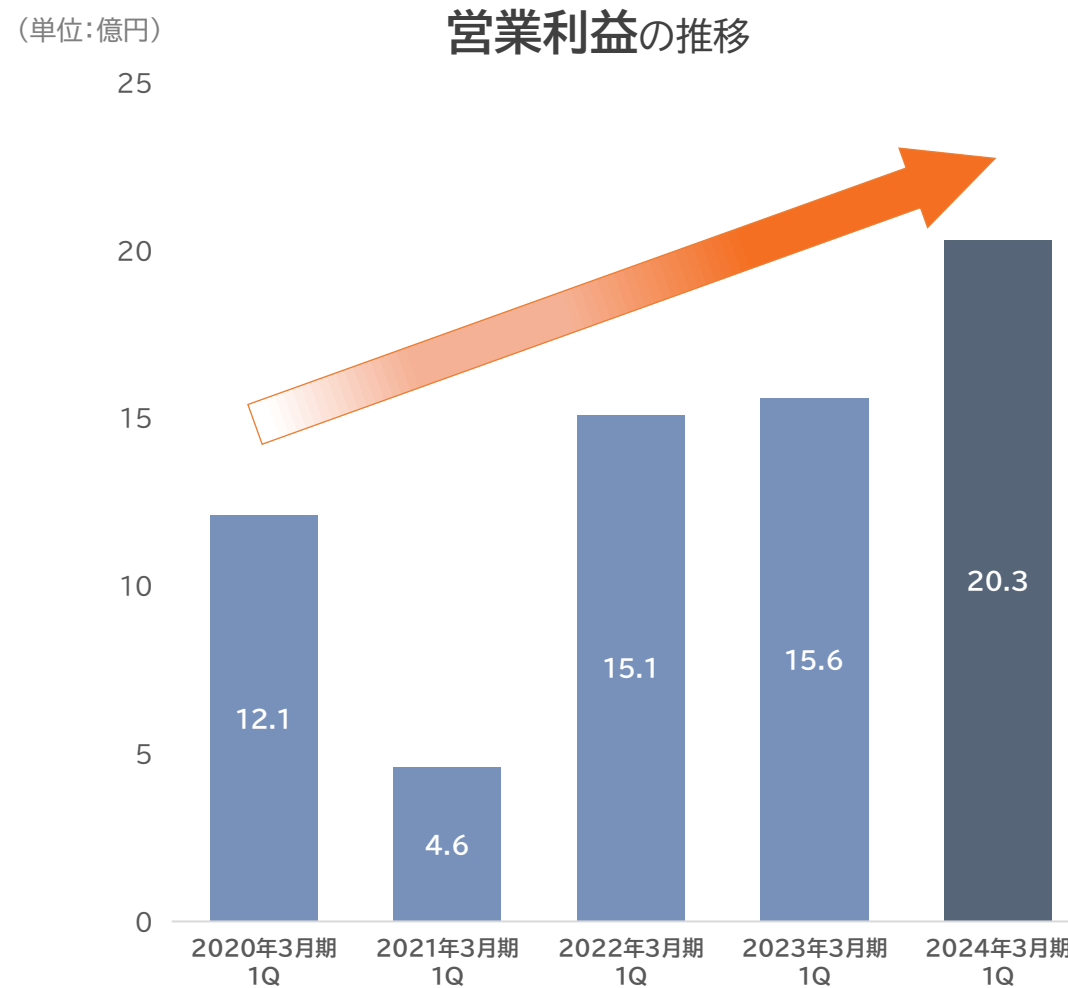
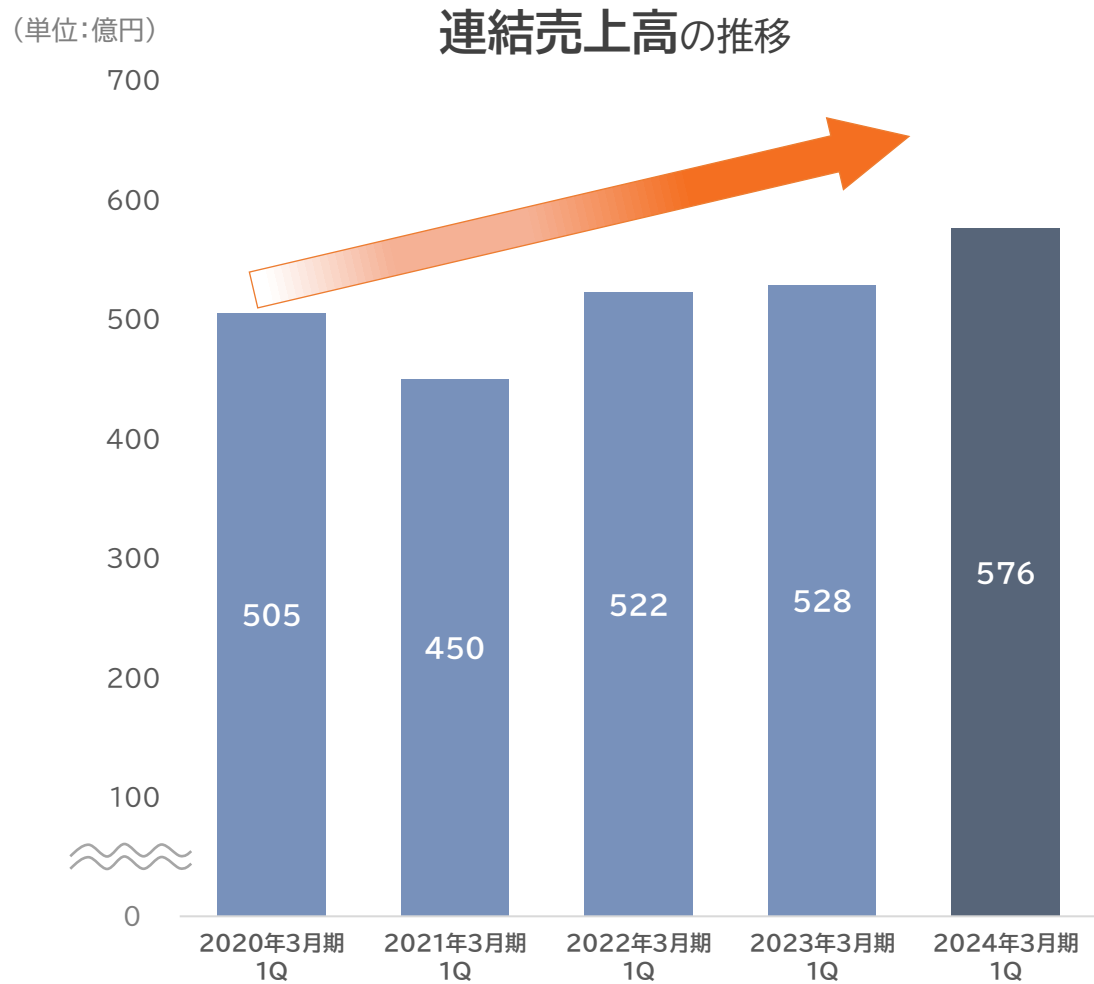
7. その他資料	P. 23
----------	-------

新型コロナの5類移行による社会経済活動の正常化と既存車のメンテナンス需要を背景に  
 販売促進を強化したことで、売上高・売上総利益が伸張し **増収・営業増益**

(単位:億円)	2024年3月期 1Q			2023年3月期 1Q	
	実績	売上比	前期比	実績	前期比
連結売上高	<b>576</b>		+9.1%	528	+1.1%
売上総利益	<b>193</b>	33.5%	+7.4%	179	+1.9%
販管費	<b>172</b>	30.0%	+5.3%	164	+1.7%
営業利益	<b>20</b>	3.5%	+29.8%	15	+3.1%
営業外収支	<b>0</b>	0.0%	▲ 92.4%	2	+34.0%
経常利益	<b>20</b>	3.6%	+12.6%	18	+6.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>13</b>	2.3%	▲ 23.4%	17	+62.8%

※表示単位未満は切り捨て ※対売上比・前期比は円単位で計算

連結売上・営業利益ともに直近5カ年で最高

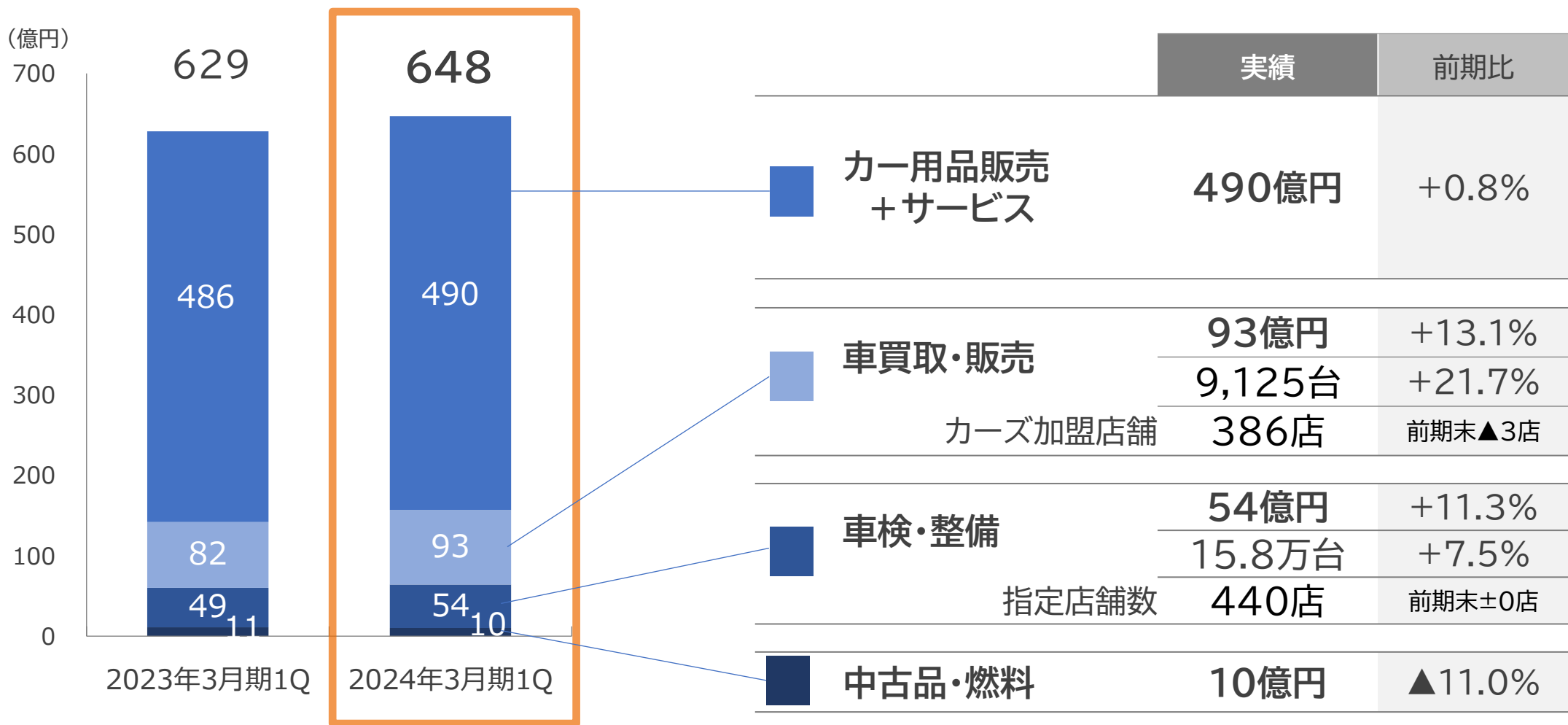


※表示単位未満は切り捨て ※ 2021年3月期以前については、収益認識に関する会計基準に基づく組替えを行っていません。

				前期比	総括	
		(単位:百万円)	2024年3月期 1Q			2023年3月期 1Q※
国内 オートバックス 事業	総売上高		42,007	38,551	+9.0%	5月にタイヤを値上げも既存車のメンテナンス需要を背景に、品ぞろえや販売促進を強化したことが奏功。カーエレは依然として苦戦するも、営業利益は前年超え。
	売上総利益		14,153	13,455	+5.2%	
	販管費		9,910	9,412	+5.3%	
	営業利益		4,243	4,042	+5.0%	
海外事業	総売上高		3,735	3,171	+17.8%	ウクライナ情勢や世界的なインフレの影響を受けたものの、卸売事業において、既存取引先への営業強化などにより、売上・売上総利益が大幅に増加。
	売上総利益		1,641	1,316	+24.7%	
	販管費		1,675	1,519	+10.3%	
	営業利益		▲33	▲202	-	
ディーラー・ BtoB・ オンライン アライアンス事業	総売上高		12,320	10,880	+13.2%	ディーラー事業は、新車生産台数の回復を背景に、新車・中古車販売台数ともに増加し、売上が増加。BtoB事業は、車両のメンテナンス需要を背景に、車検整備・タイヤ販売の子会社やカー用品の卸売の子会社が好調。
	売上総利益		2,722	2,385	+14.1%	
	販管費		2,690	2,476	+8.6%	
	営業利益		32	▲91	-	
その他の事業	総売上高		4,128	4,522	▲8.7%	ブランド事業の売上微減も、利益率の高いファイナンス事業が伸長し、営業損失縮小。
	売上総利益		803	835	▲3.8%	
	販管費		973	1,015	▲4.1%	
	営業利益		▲169	▲179	-	
調整額	営業利益		▲2,041	▲2,004	-	

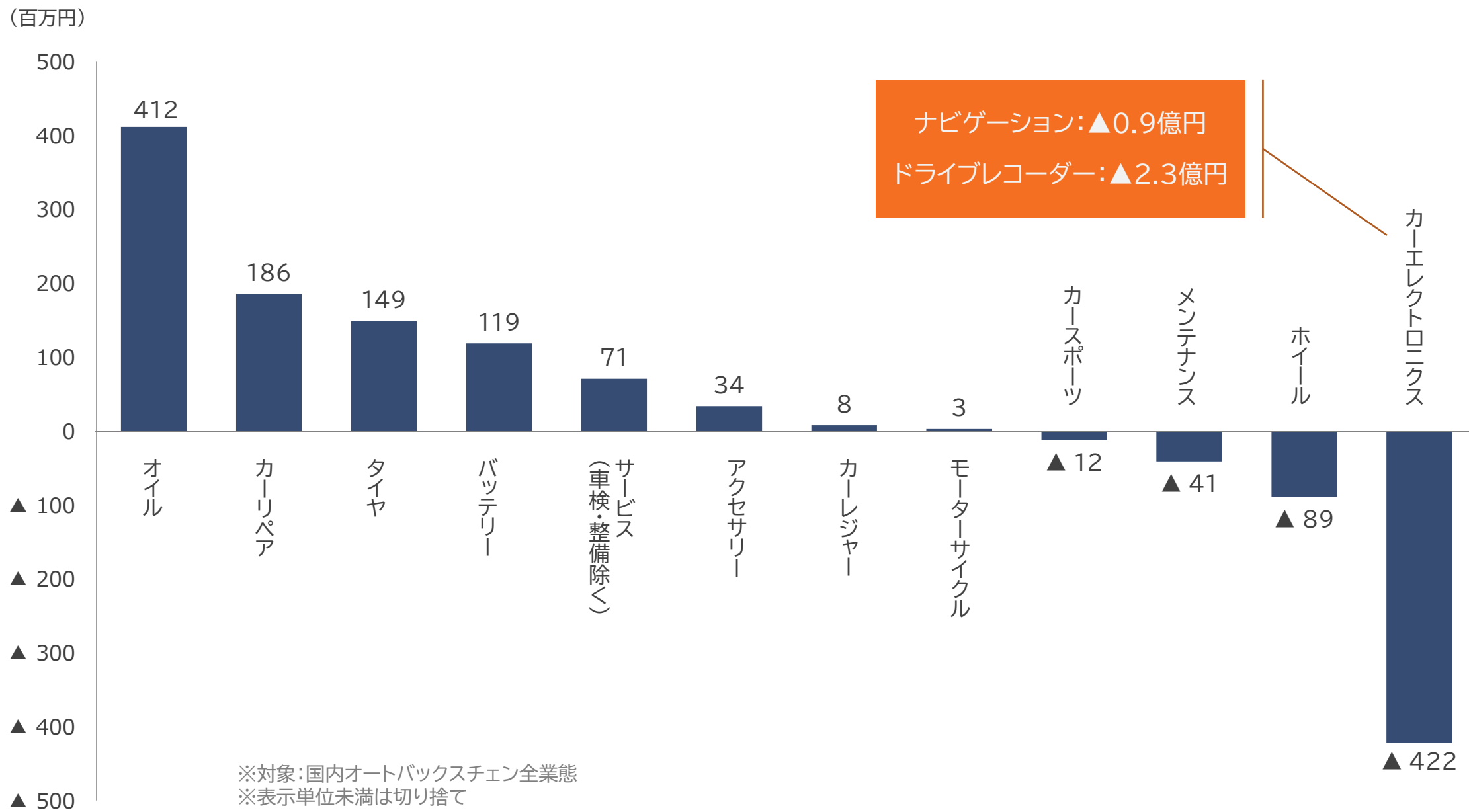
※表示単位未満は切り捨て ※前期比は円単位で計算 ※前第1四半期は、変更後の報告セグメントの区分に組み替え済

国内店舗売上高 **648億円** 前期比 **+3.0%**

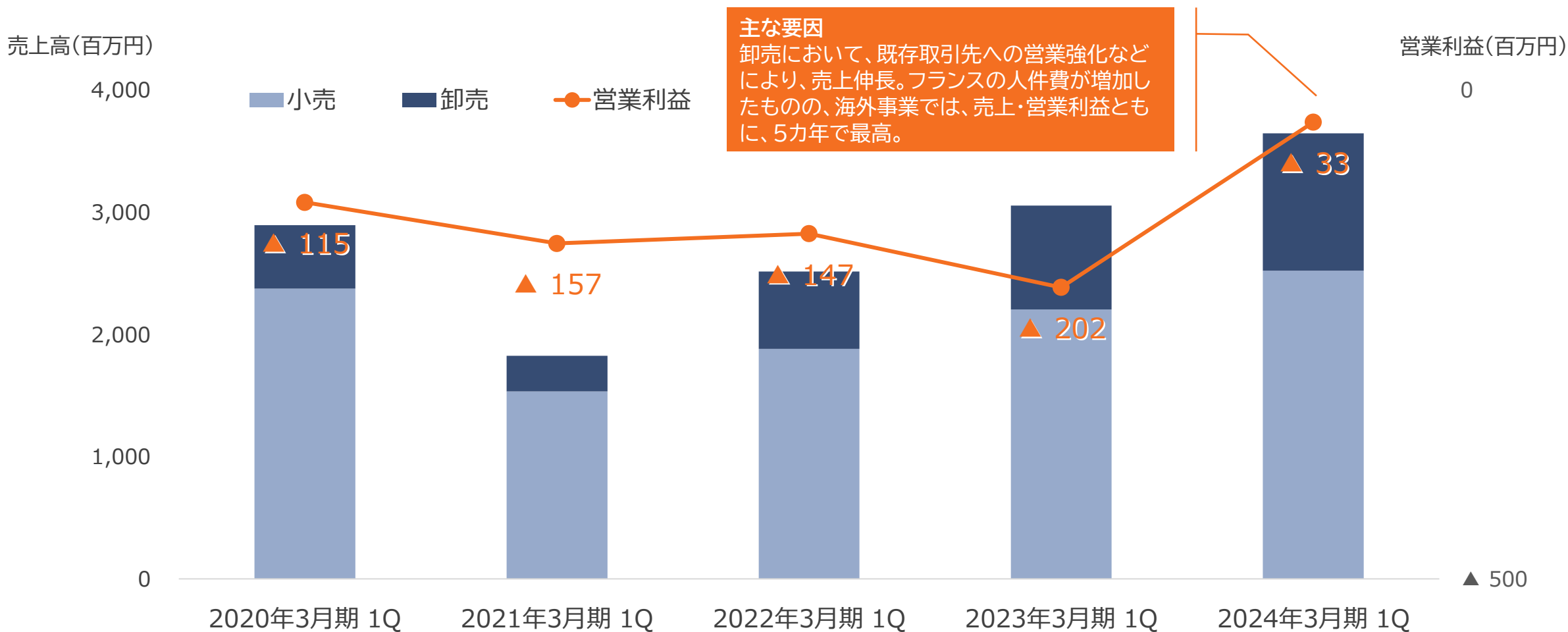


※対象:国内オートバックスチェーン全業態、※表示単位未満切り捨て  
 ※前期比は円単位で計算

# 2024年3月期1Q 商品別 カー用品売上高増減額（前期差 全店ベース）



## ウクライナ情勢と世界的なインフレの影響を受けたものの増収増益



**主な要因**  
卸売において、既存取引先への営業強化などにより、売上伸長。フランスの人件費が増加したものの、海外事業では、売上・営業利益ともに、5カ年で最高。

※表示単位未満切り捨て

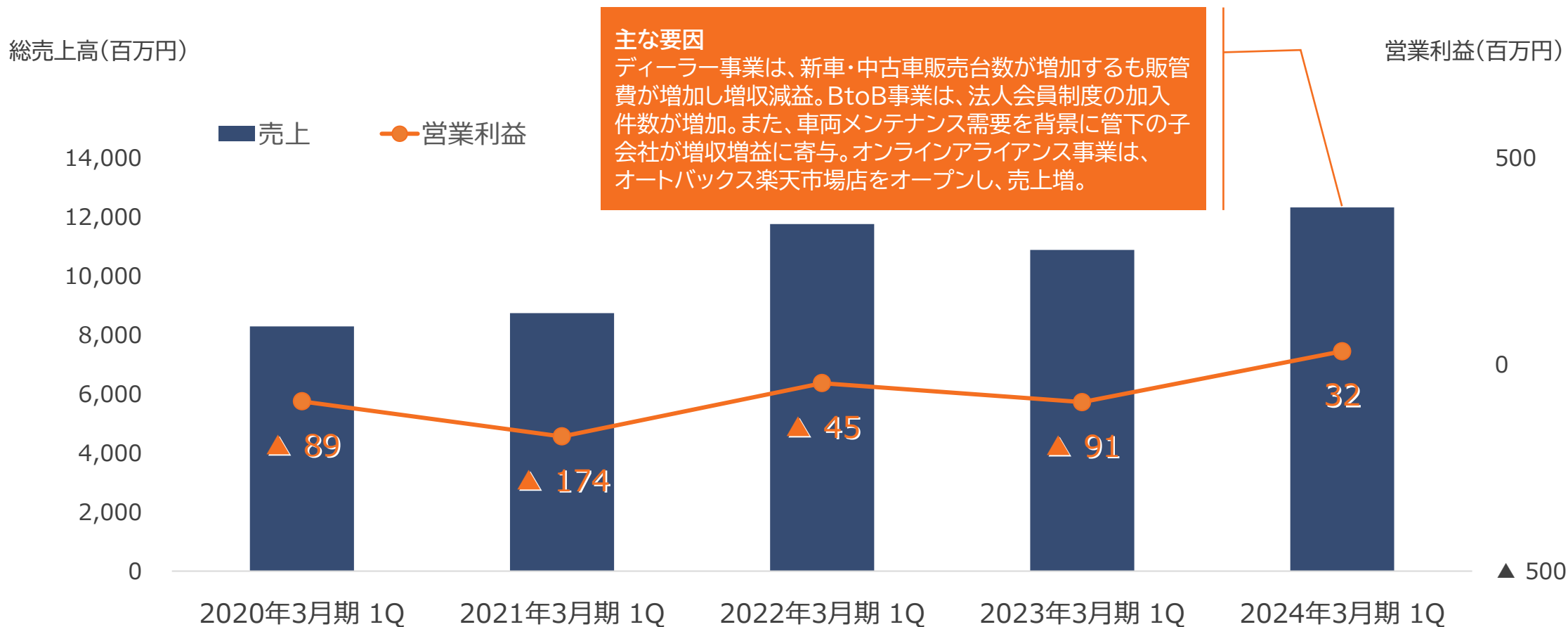
※ 2021年3月期以前については、収益認識に関する会計基準に基づく組替えを行っていません。



(単位:百万円)	フランス		オーストラリア		シンガポール		中国		マレーシア	
店舗数	10		0		2		0		5	
累計期間	24/3 1Q	23/3 1Q	24/3 1Q	23/3 1Q	24/3 1Q	23/3 1Q	24/3 1Q	23/3 1Q	24/3 1Q	23/3 1Q
売上高	2,042	1,737	655	677	429	438	212	267	33	36
販管費	1,161	975	168	161	181	232	65	51	16	12
営業利益	▲160	▲70	18	28	1	▲46	▲19	▲120	▲2	1
状況	<p>原材料価格が高騰したものの、価格転嫁などにより、売上が増加。法定最低賃金の引き上げにより人件費が増加。</p>		<p>インフレや中央銀行の金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したことなどにより、売上が減少。</p>		<p>車両のメンテナンス需要を取り込み、ピットサービスが好調に推移。一方、自動車整備を中心に行う法人顧客向けサービスの低調で売上が減少。</p>		<p>海外および日本への輸出が低調で、売上が減少。また、中国国内への卸売も低調。(※前期に一部滞留在庫を処分しております)</p>		<p>インフレや中央銀行の金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したことなどにより、売上が減少。</p>	

※表示単位未満切り捨て

## ディーラー事業は、新車・中古車販売台数が増加するも増収減益 BtoB事業・オンラインアライアンス事業は、増収増益



※ 表示単位未満切り捨て

※ 2021年3月期以前については、収益認識に関する会計基準に基づく組替えを行っておりません。

## ディーラー事業

- ✓ 連結子会社の株式会社バックスeモビリティが、BYD正規ディーラー「BYD AUTO 宇都宮」および「BYD AUTO 練馬」出店のための開業準備室を開設
- ✓ 新車生産台数と中古車登録台数の回復を背景に、新車、中古車の販売台数がともに増加し、売上が増加



## BtoB事業

- ✓ オートバックス法人会員制度の加入企業数が順調に増加
- ✓ 2023年4月、大手コンビニエンスストアへ商品供給のテスト展開を開始
- ✓ 車両メンテナンス需要を背景に、車検・整備・タイヤ販売を行う子会社やカー用品、エンジンオイル等の卸売を行う子会社が好調



## オンラインアライアンス事業

- ✓ 2023年4月、カーライフ総合情報サイト「MOBILA(モビラ)」オープン
- ✓ 引き続き物流改革やネットとリアル融合を促進



## ディーラー事業の連結子会社(孫会社)2社が連結対象から外れることに伴い業績計画を修正

7月31日発表:連結子会社(孫会社)の異動(株式譲渡)および業績予想の修正に関するお知らせ

(単位:億円)	2023年 3月期実績	2024年3月期(期初計画)			2024年3月期(修正計画)				
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	期初計画比 増減額	前期比
連結売上高	2,362	1,118	1,312	2,430	1,103	1,238	2,342	▲88	▲0.9%
売上総利益	794	381	440	822	377	424	802	▲20	+0.9%
売上総利益率	33.6%	34.1%	33.6%	33.8%	34.2%	34.3%	34.2%		
販管費	677	343	355	699	341	341	683	▲16	+0.8%
営業利益	117	37	85	123	36	82	119	▲4	+1.5%
営業利益率	5.0%	3.4%	6.5%	5.1%	3.3%	6.7%	5.1%		
経常利益	115	33	86	120	32	83	116	▲4	+0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	21	53	74	45	53	99	+25	+36.8%
ROE	5.8%			5.8%			7.7%		

※表示単位未満は切り捨て ※対売上比・前期比は円単位で計算

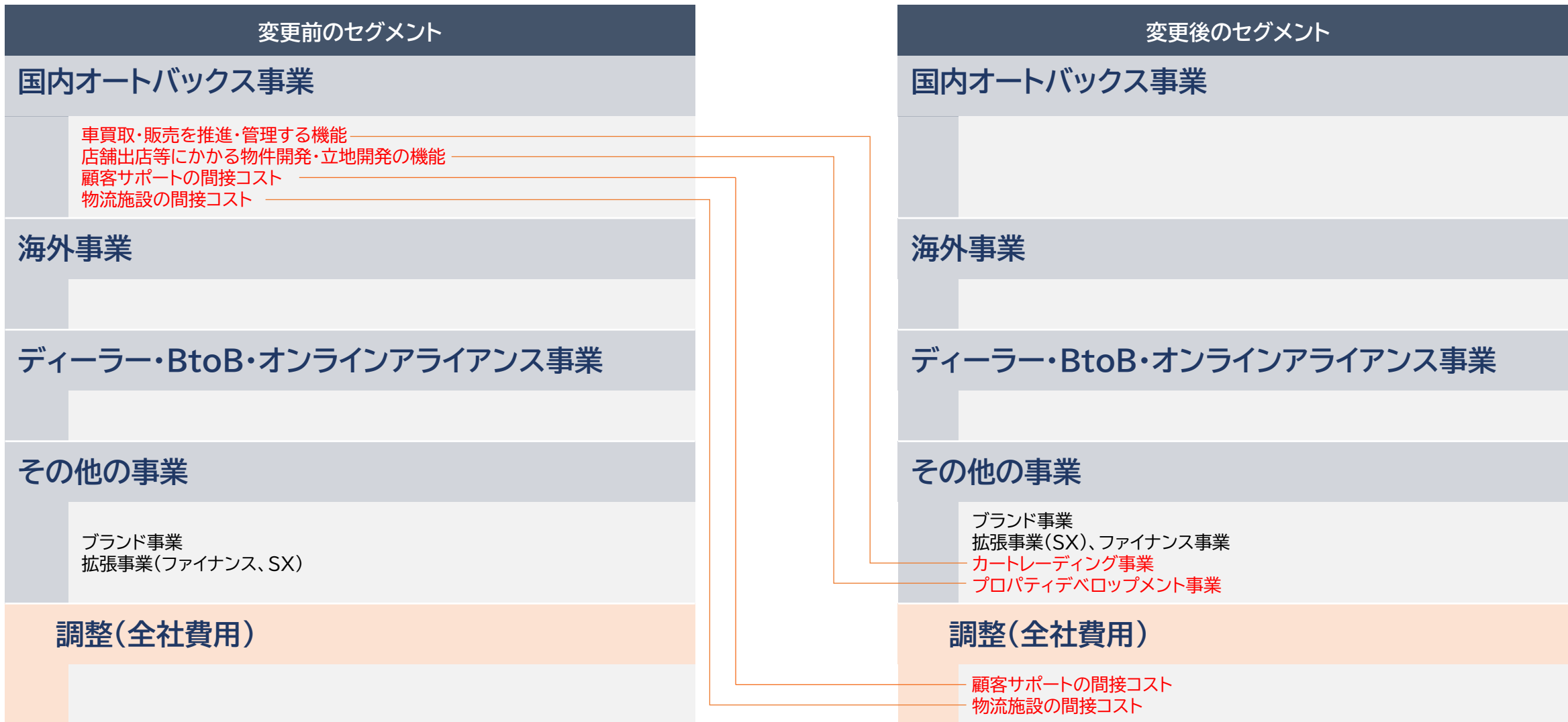
## セグメントの変更および

ディーラー事業の連結子会社(孫会社)2社が連結対象から外れることに伴い以下のとおり修正

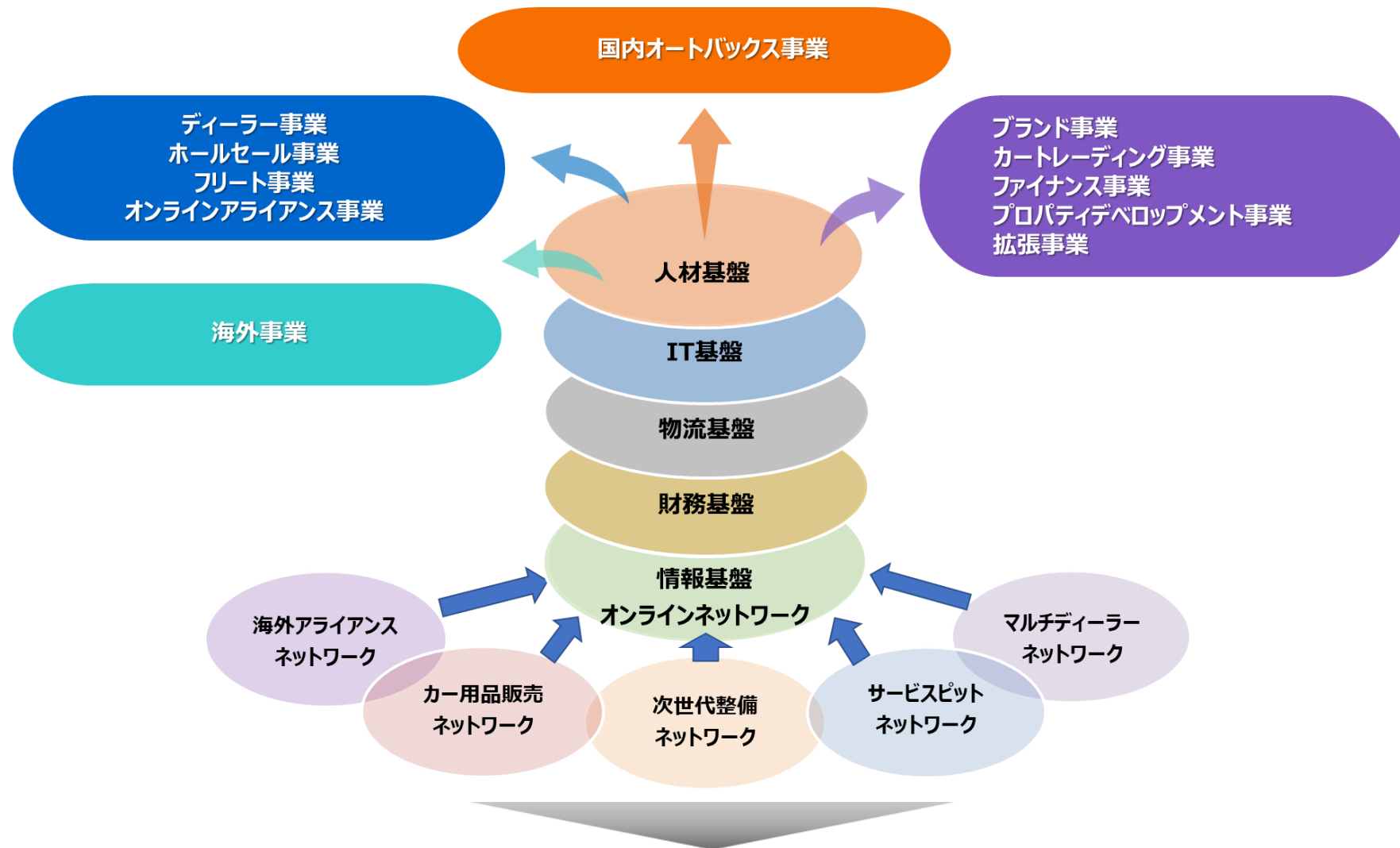
(単位:百万円)	2023年 3月期実績	2024年3月期(期初計画)			2024年3月期(修正計画)					
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	期初計画比 増減額	前期比	
国内オートバックス 事業	総売上高	174,577	83,890	100,440	184,330	80,120	96,150	176,270	▲8,060	+1.0%
	営業利益	21,239	7,420	12,280	19,700	7,850	12,640	20,490	+790	▲3.5%
海外事業	総売上高	13,531	7,820	7,520	15,340	7,820	7,520	15,340	0	+13.4%
	営業利益	▲207	100	0	100	100	0	100	0	—
ディーラー・BtoB・ オンラインアライアンス事業	総売上高	49,196	24,520	28,290	52,810	23,040	20,970	44,010	▲8,800	▲10.5%
	営業利益	281	20	290	310	▲100	10	▲90	▲400	—
その他の事業	総売上高	18,577	2,960	3,230	6,190	8,640	9,590	18,230	+12,040	▲1.9%
	営業利益	▲1,066	▲240	▲270	▲510	▲480	▲400	▲880	▲370	—
調整額	営業利益	▲8,524	▲3,540	▲3,760	▲7,300	▲3,730	▲3,990	▲7,720	▲420	—

※表示単位未満は切り捨て ※対売上比・前期比は円単位で計算 ※2023年3月期実績は、変更後の報告セグメントの区分に組み替え済

事業ポートフォリオの見直しを行い、以下のとおり、報告セグメントを変更(変更箇所:赤字)



(セグメント変更) 参考



お客様の利便性向上のため、事業者の垣根を越えた連携を積極的に推進

## 各事業の取り組み

### A PIT AUTOBACS のZEVへの取り組み

- 「Hyundai Mobility Lounge 東京ベイ東雲」オープン 2023年5月20日  
HyundaiのZEV※の車両展示・購入相談を実施  
Hyundaiと整備業務基本契約を締結し、ZEV※の点検整備、保証整備、メンテナンスを開始

※ZEV(Zero Emission Vehicle):走行中に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCEV)の総称





オンラインアライアンス事業

## 各事業の取り組み

# カーライフ総合情報サイト「MOBILA」オープン

～クルマに乗るすべての人に安心とワクワクを～ 2023年4月18日

- 最新のカーニュース、ドライブなどクルマで出かけたくなる情報を提供
- マイカーメンテナンス管理や地図情報サービスを搭載
- モビリティ情報のプラットフォームへ

**MOBILA**  
MOBILITY as a LIFE



<https://mobila-carlife.jp/>





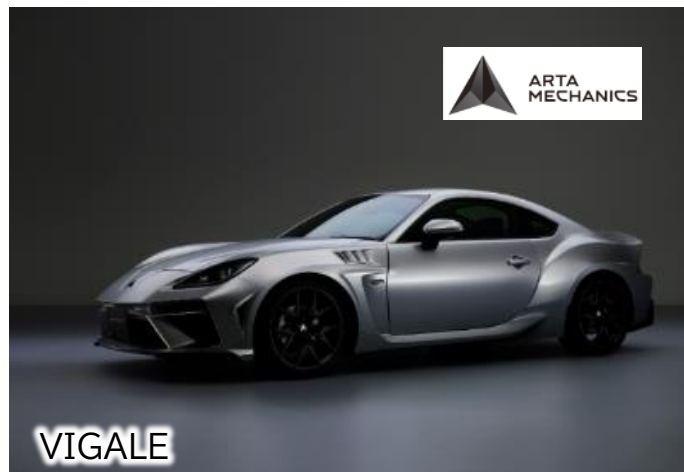
ブランド事業

## 各事業の取り組み

# コンセプトストア『ARTA MECHANICS & INSPIRATIONS』

グランドオープン 2023年5月12日

- 非日常体験や、イベント・パーティーの開催を通じて仲間と楽しめる空間  
“インスピレーション”が受け取れる、ユーザーの体験型施設を目指す
- これまでネット通販のみで販売していたエアロパーツや、スポーツシートなどのクルマのパーツのほか、「ARTA CVSTOS」のアパレルを中心としたアイテムを販売



海外アライアンス  
ネットワーク



海外事業

## ネットワーク構築の取り組み

### マレーシアにおいて、政府認定共同組合「KOPFALAH」と日本の高品質な中古車販売とメンテナンスの包括的な自動車エコシステムを構築

- KOPFALAHに加盟する公務員が当社より輸入した中古車やカー用品などを購入する際、手軽に融資を受けられることができ、自動車購入ハードルを大幅に下げることができる
- 当社のマレーシア子会社であるAUTOBACS CAR SERVICE MALAYSIA SDN.BHD. が推進する認定店「オーソライズドディーラー」ネットワークを、KOPFALAHの融資プログラムに加盟している現地自動車整備業者へ展開



モハメド ファリーズ モシディ会長:右  
海外事業統括 北村 敏雄:左

情報基盤  
オンラインネットワーク

## ネットワーク構築の取り組み

# デジタルエコシステムによる“CDE”の実現

※CDE : **C**ustomer **D**eep **E**ngagementの略。お客さまとより深く、より長く、直接的につながることを目指す戦略

## 株式取得によるDX戦略子会社化

### 株式会社オートバックスデジタルイニシアチブ

2023年4月3日

- IT 基盤構築に関わる領域の強化
- デジタル人材の育成、全社デジタルリテラシーの向上
- 全従業員ITパスポートの取得を目指す



マテリアリティ	非財務目標	範囲	KPI	2022年度実績	2030年度目標	取組み紹介
社会課題を解決する事業の創出	交通事故ゼロへの取り組み推進	連結	事故抑止商品の販売	19万個/年	23万個/年	▶P21
		連結	タイヤチェック・駆け込み拠点の構築(連携先の拠点含)	238拠点	734拠点	
		連結	地域交通安全イベントの開催	2回/年	4回/年	
	整備士の地位向上と育成	連結	検査員の確保と育成	467名	1,000名	
		連結	2級整備士の確保と育成	683名	1,100名	
		連結	EV対応教育の完了	528名	1,096名	
クルマに関わる社会貢献の推進	連結	クルマを活用した災害支援	31台	111台	▶P21	
環境・社会に配慮した取組の充実	環境配慮型店舗の設置によるCO2の削減	連結	環境配慮型店舗の推進	64店舗	140店舗	▶*P22
	環境配慮型ビジネスの推進/サーキュラーエコシステムの実現	単体	環境にやさしい商品開発	45商品	300商品	▶*P22
		連結	オイル缶削減(量り売りオイル販売比率向上)	0.5万缶/年	22万缶/年	▶*P22
	脱炭素社会の実現に向けた安全・安心なEV普及の促進	連結	急速充電器設置	7店舗	43店舗	▶*P22
		連結	EV車検の推進(車検台数)	363台	3,440台/年	▶*P22
		連結	EV販売の推進(販売台数)	115台	2,500台/年	▶*P22
成長し続ける組織・人材	多様な人材が活躍できる企業風土づくり	連結	女性比率の向上	17.9%	30.0%	▶P22
		連結	女性役職者(課長以上)比率の向上	8.6%	18.0%	
		連結	男性育休取得の推進	37.1%	100.0%	
	単体	社員いきいき度の維持	2.7	3.0		
健康で活力あふれる職場づくり	連結	喫煙者比率低減の推進	34.3%	20.0%		
持続可能かつ強固な経営基盤	ESG・SDGsに関する方針の見直し・策定およびそれらの遵守	単体	サステナビリティ方針および関連方針の整備	方針策定・開示	更新	▶P22
	更なるモニタリングの強化	単体	ガバナンス体制と進捗状況のモニタリング強化	進捗管理方法の設計完了	改良	
	価値創造に向けたデータ基盤整備と活用	連結	データ活用プロジェクトの推進	顧客データ基盤の構築完了。利用促進中	データの連携・活用	
単体		データ分析人材の育成	教育受講者50名	320名	*環境への取組み	

KPI:地域交通安全イベントの開催

## 地域密着型の「交通事故ゼロへの 取り組み推進」イベントを開催

- 当社およびフランチャイズ加盟法人が、管轄の警察をはじめ官公庁と連携し、地域に密着した交通安全啓蒙活動を共同で開催
- パトカーの展示や乗車体験のほか、着用が努力義務化された自転車用ヘルメットの試着体験などを実施



KPI:クルマを活用した災害支援

## 日本カーシェアリング協会に 車両10台を寄贈

～「クルマを活用した災害支援」として、  
定期的な車両寄贈で災害に備える～

- 日本カーシェアリング協会に平時に車両を毎年寄贈することを決定し、本年は軽自動車10台を寄贈
- 本年度から2030年度まで、台風や集中豪雨などの災害が多発する前の平時に車両寄贈を進め、万が一の場合、迅速に被災地に届けられるよう支援



KPI:サステナビリティ方針および関連方針の整備

## サステナビリティ基本方針、人権方針、ダイバーシティ方針、調達方針を策定

2023年4月

当社グループの長期的な企業価値向上と社会の持続的な発展を両立する取り組みを一層強化していくことを目的に、「サステナビリティ基本方針」および関連する方針の整備を行いました。

### オートバックスセブングループ サステナビリティ基本方針

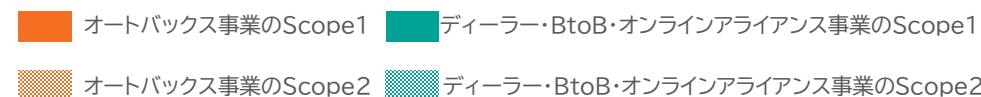
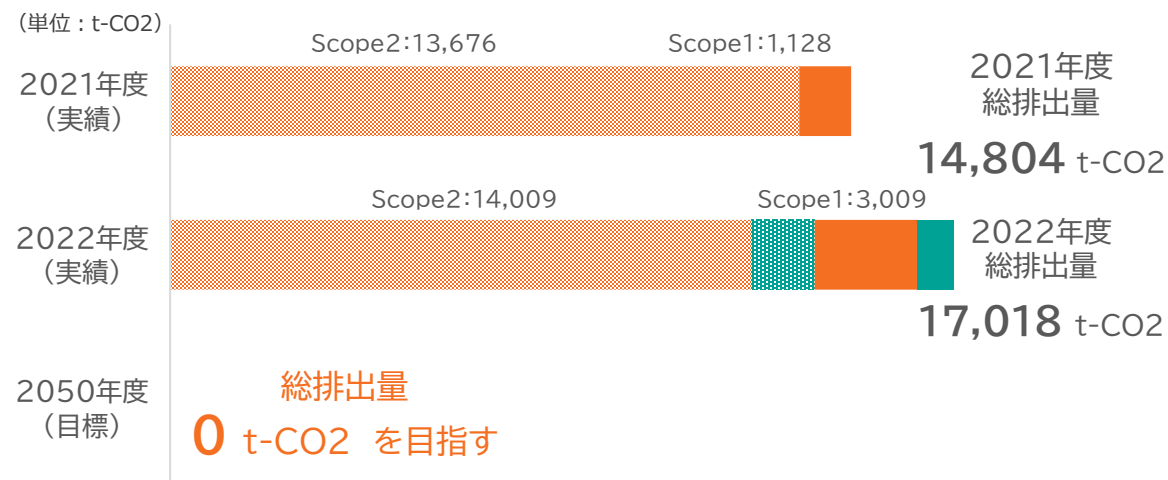
1. 環境・社会に配慮した取り組みの充実
2. 社会課題を解決する事業の創出
3. 事業活動に関わるすべての人の人権を尊重
4. 成長し続ける組織・人財
5. コンプライアンス遵守の徹底
6. 健全で強固なガバナンス体制の維持・強化

環境への取組み

## 削減目標:2050年度にカーボンニュートラル (排出量実質ゼロ)

お客様の商品使用段階における排出量削減も含めた環境配慮型機能性商品の開発や、省エネ店舗化の推進および資源循環への取り組み等を検討。

### スコープ別排出量



台数合計 **9,125台** 前期比 **+21.7%**

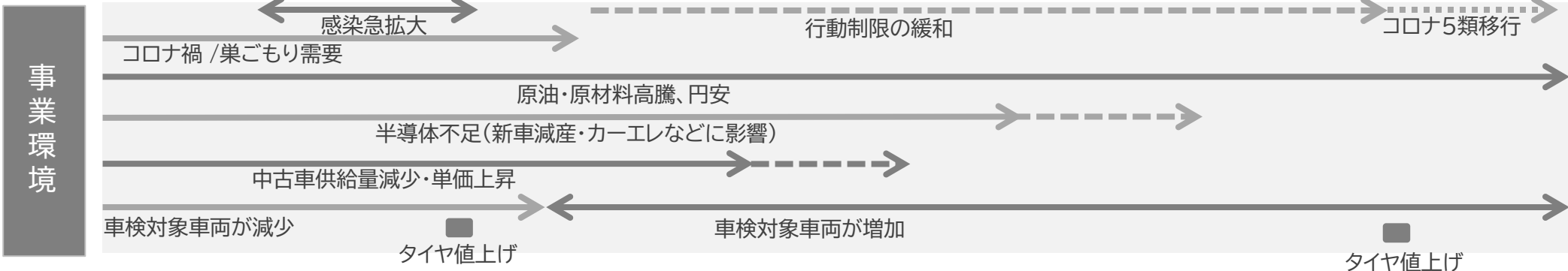
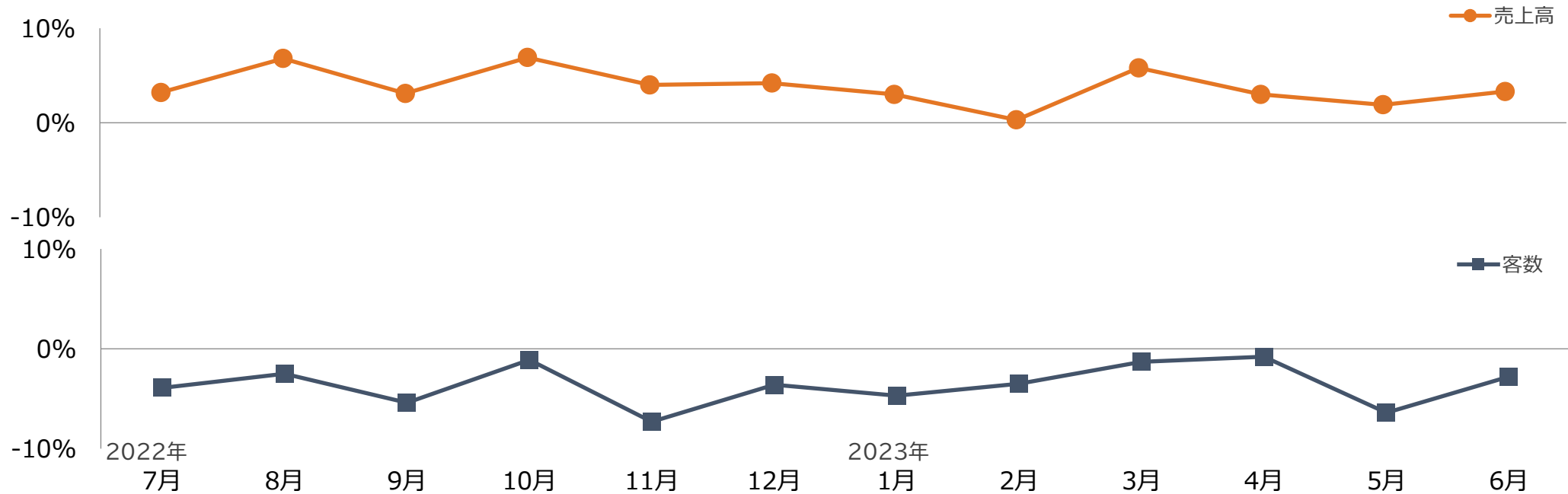
業販	
内訳	売上台数
本部へ売却	417台
本部へ売却を委託	1,231台
店舗から直接	4,857台
<b>業販 合計</b>	<b>6,505台</b>

小売	
内訳	売上台数
中古車	1,691台
新車	929台
<b>小売 合計</b>	<b>2,620台</b>

※車買取専門店を含む全ての店舗における台数



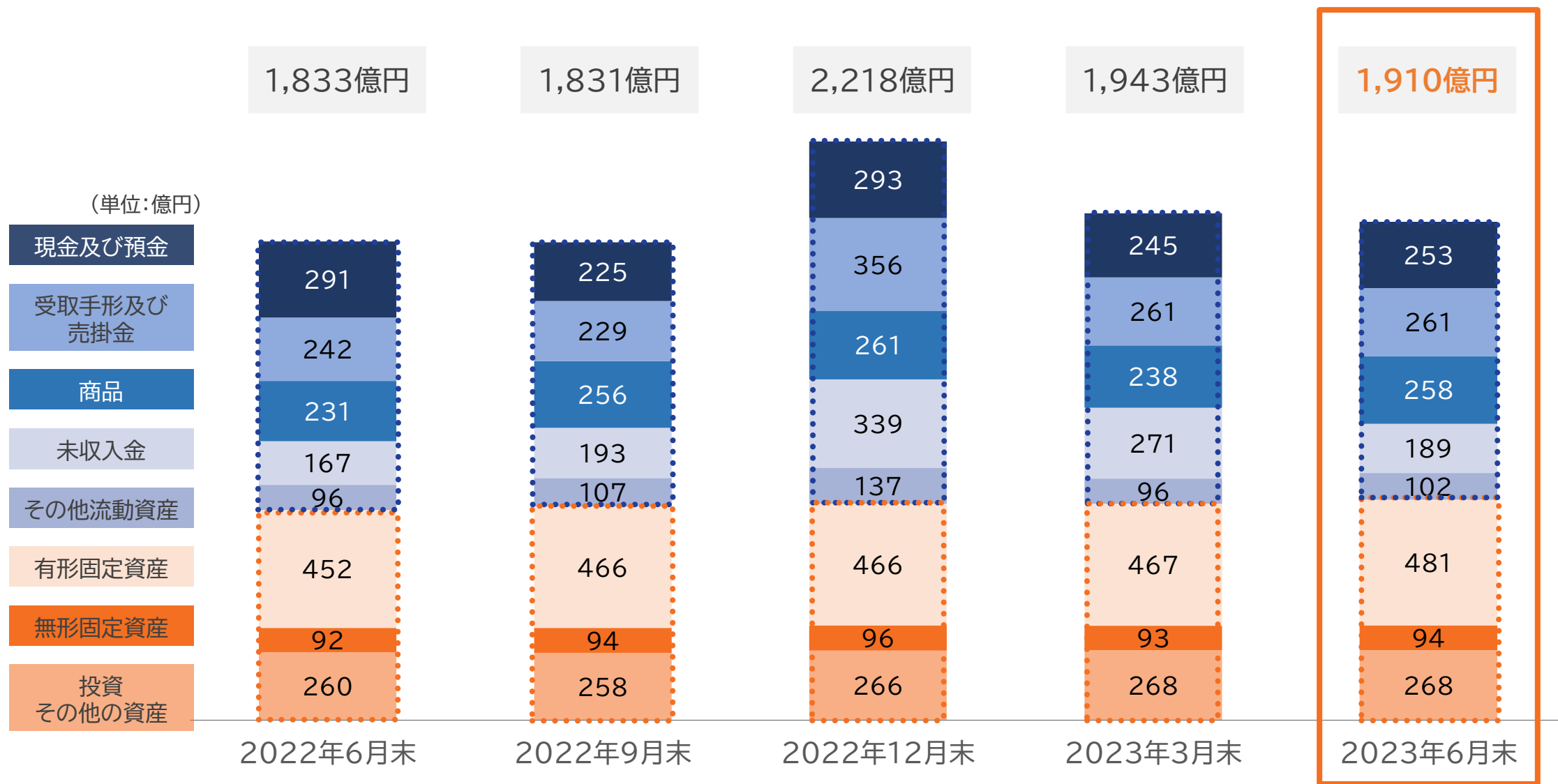
# 1Q 既存店 売上前期比 +2.7% 客数前期比 ▲3.3%



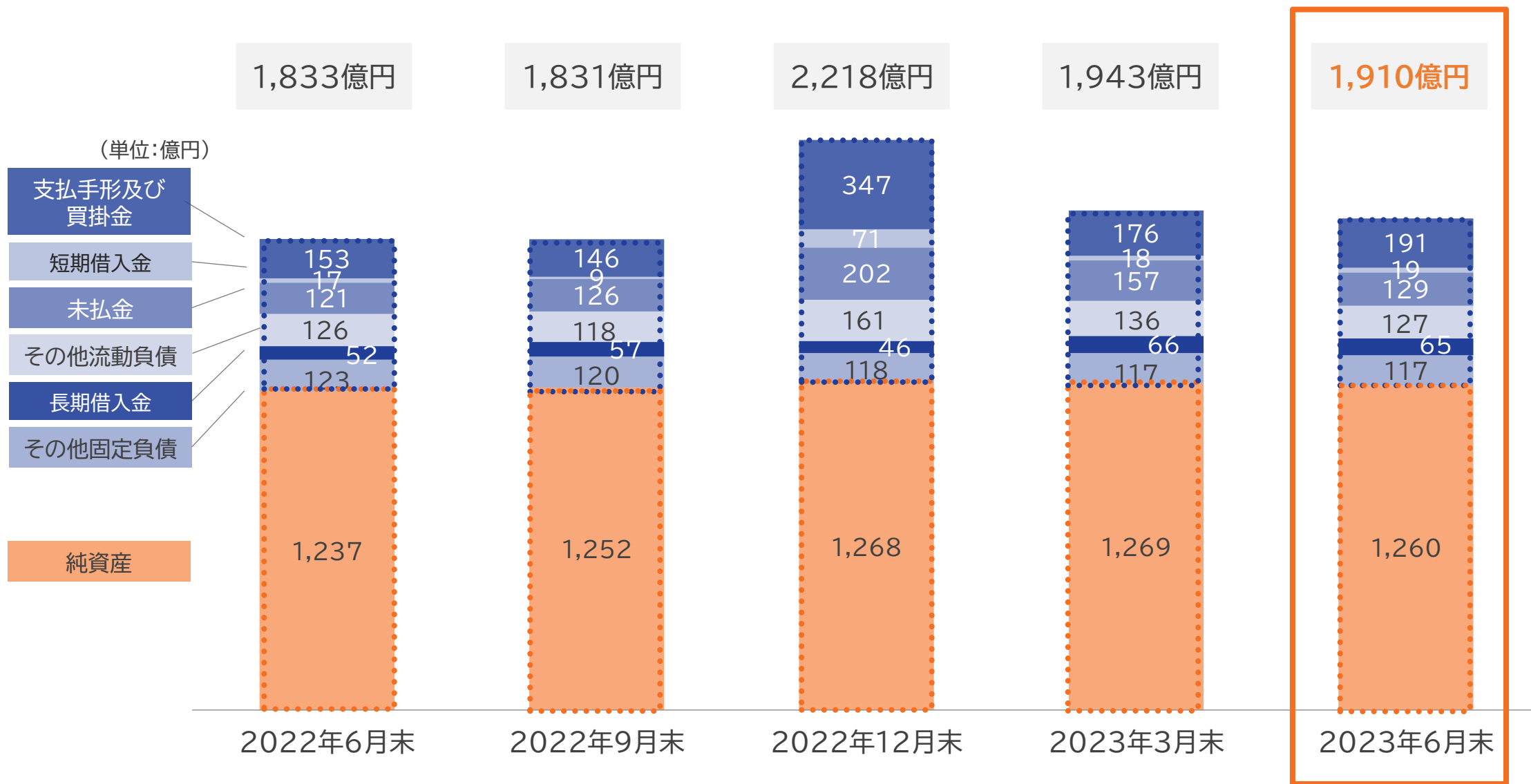
国内	23/3末	2024年3月期							24/3末
		1Q(実績)			23/6末	2Q-4Q(計画)			
		新店	S&B R/L	退店		新店	S&B R/L	退店	
オートバックス	496				496	+5	+4/▲4		501
スーパーオートバックス	74				74				74
オートバックスセコハン市場	4				4				4
オートバックスエクスプレス	11				11				11
オートバックスカーズ	3				3				3
国内計	588	—	—	—	588	+5	+4/▲4		593

海外	23/3末	2024年3月期			24/3末
		1Q(実績)	23/6末	2Q-4Q(計画)	
台湾	6		6		6
シンガポール	2		2		2
タイ	49	+5/▲1	53	+4	57
フランス	10		10		10
マレーシア	5		5		5
インドネシア	3		3		3
フィリピン	3		3	+3	6
海外計	78	+4	82	+7	89

※S&B:スクラップ&ビルド  
 ※R/L:リロケーション(業態転換含む)



※表示単位未満切り捨て



※表示単位未満切り捨て



### 見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。